

吉野川しおまねきマップ

吉野川河口観察マップ



潮干狩りポイントです!

じま!
夏場にはヨシ原の前面にイセウキヤガラの大きな群落が見られます。ヨシ原にはヨシダカワザンショウやヒロクキカノなどの貴重な巻貝が生息しています。下流側のシオクワの群落周辺にはシオマネキもたくさんいます。

JR鉄橋下流干潟

夏場にはヨシ原の前面にイセウキヤガラの大きな群落が見られます。ヨシ原にはヨシダカワザンショウやヒロクキカノなどの貴重な巻貝が生息しています。下流側のシオクワの群落周辺にはシオマネキもたくさんいます。

北岸・吉野川橋上流ワンド

ワンドの周りの砂地にはヤマトシジキやハマグリ、マテガイなどの貝が棲んでいます。網でくわすとエビの仲間がいろいろ見られます。ヨシ原の中の池とそれをつなぐ水路にもアロヒシマシユウダイなどの魚やチゴイワガニ、ノギリガサミなどのカニ類が生息しています。

痕し船跡の石碑が建てられています

北岸・吉野川橋下流干潟

道路と古い石積み護岸の間にヨシ原と干潟が残されている貴重な場所です。きれいな砂地にはハクセンシオマネキが大きな集団で暮らしています。ヨシ原にはクワイロコミミガイやウモレバンケイガニなどの希少な生物もよく見られます。護岸の隙間にはアジツボやニ枚貝が付いて、その隙間にカニなどが潜んでいます。

ビューポイント! 吉野川と眉山と吉野川橋の広大な風景が楽しめます。

ウエーピングの観察もしやすいよ!

交通量が多いので車には要注意

帽子



長そで

干潟へ行くなら長く

飲み物

夏場の観察には熱中症と日焼け対策をお忘れなく。



小松海岸



干潟の生きものは動きに敏感です。あやうと近づくと、あっという間に姿を隠してしまいます。そんな時は腰をおろして静かに待ちましょ。



南岸・吉野川橋下流干潟

古い石積み護岸が残る場所にはアリアケガニやヒメヤマトシジキ、ハナナトマヤガイなどが多く見られます。ハクセンシオマネキやバンケイガニ類も多く生息しています。石積み護岸の後ろに砂泥が溜まった干潟やヨシ原が形成されていて、水際から後背地までの連続性が保たれています。



アリアケモドキの場所

泥質の干潟ではヤマトオサガニやチゴイワガニが間近で観察できます。干潟の中を流れる水路にはアリアケモドキやムツハリアケガニなど希少種がたくさんいます。本流側の干潟に出ると砂泥質になり、ヨコヤマトシジキの巣穴がたくさんあります。

ヨシ原からは野鳥の声が聞こえてきます。どんな鳥がいるのかな。

お不動さん前

砂質の中洲の周りには絶滅危惧種のヒガタナホムシがたくさん生息しています。砂泥質の干潟にはコメツキガニやオサガニ、ヤマトオサガニ、ガニがたくさんいます。ウエーピングでバンザイするヒメヤマトオサガニも見つかります。護岸には汽水域を特徴付ける海藻アヤギ、ホリヤギが見られます。

ヤマトオサガニとヒメヤマトオサガニのウエーピングの違いをくらべてみよう。



グラウンド中央船着場

船着場の周辺にはシオマネキやハクセンシオマネキ、チゴイワガニ、コメツキガニ、ヤマトオサガニなど多様なカニ類が生息しています。ヨシ原の地盤の高い部分にはウモレバンケイガニやクワイロコミミガイ、ヨシダカワザンショウなどの希少種が多く生息しています。ハマガニの巣穴もたくさん見られます。

流木や石の下にカニや貝が隠れているよ。探してみよう。

住吉干潟

ヨシ原にはシオマネキやクシテガニ、アシナガニなどが多く、トビハゼも近くで見られます。ヨシの根元をよく見るとヒロクキカノやトハナリ、カワザンショウの仲間がいます。グラウンドから流れ込む水路は塩分濃度が低いのでスズアオリなどの汽水域を特徴付ける海藻がたくさんついています。ヨシ原の外側の干潟にはヨコヤマトシジキやニホスナモグリが高密度で生息しています。その巣穴に共生する生物も豊富に見られます。干潟の少し高い砂地にはスナガニがたくさん巣穴を掘っています。

巻貝をそと手の平にのせて、じっとしていると、ゆくりとフタが開いて動きだすよ。

堤防の上からバードウォッチング!

シキヤドリなど、四季折々いろんな鳥が見られます。干潟まで距離があるので双眼鏡があるとGoodです。

目の細かいワシで水際の砂泥をふるってみると、小さな生きものが見つかるよ。



ヒメヤマトオサガニのウエーピング

ヤマトオサガニのウエーピング



ヨシ原の干潟にはヨコヤマトシジキやニホスナモグリが高密度で生息しています。その巣穴に共生する生物も豊富に見られます。干潟の少し高い砂地にはスナガニがたくさん巣穴を掘っています。